静岡自然トピックス

砂浜に住む昆虫

ハマヒョウタンゴミムシダマシと ニセハマヒョウタンゴミムシダマシ

横山謙二・坂倉理一郎

一見、なにも昆虫が住んでいなそうに見える広い砂浜ですが、実は小さな昆虫がたくさん住んでいます。ここで紹介するのは、その砂浜に住む昆虫のヒョウタンゴミムシダマシ属（*Idisia* 属）です。この属は、ハマヒョウタンゴミムシダマシ *I. ornata* とニセハマヒョウタンゴミムシダマシ *I. vestita* の２種で構成されています。*I. ornata* は琉球諸島以外の日本各地に広く分布していますが、*I. vestita* は本州、四国、九州と淡路島などの一部の島々にしか生息していない日本固有種です。このように *I. ornata* のほうが広く分布していますが、ここ静岡県では、*I. ornata* の分布は相良海岸と伊豆半島に限られ、*I. vestita* は県内のほとんどの砂浜に分布しています。

両種ともに５㎜程の小さい甲虫で、飛べないため、歩くか、砂に浅く潜ることしかできず、砂浜以外の海岸では記録がありません。また生態も良く分かっていないことが多いのですが、後浜や砂丘などの流木の下や海浜性植物などが生えている場所に住み、漂着した海藻などを食べています。

ハマヒョウタンゴミムシ *Idisia ornata* Pascoe, 1866
牧之原市須々木

ニセハマヒョウタンゴミムシダマシ *Idisia vestita* Marseul, 1876
静岡県静岡市駿河区石部